



# 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 7> 平成30年9月28日

## さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡 2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)  
866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

### 次への為のステップアップ

校長 今溝 良司

季節の変わり目を迎える9月は、気象用語で言う大気の状態が不安定な状態が続き、予定していた15日(土)の体育祭は延期を余儀なくされましたが、敬老の日の翌日18日は前日の雨もやみ、好天の下無事全日程を消化することができました。平日にもかかわらず受付名簿にはおよそ500名の保護者・地域の皆様にご来校いただき熱い声援・視線で大いに盛り上げていただきありがとうございました。演技のスタートは「白中体操」です。クラスカラーごとの集団は乱れることなく生き生きと跳ね心と体のウォーミングアップを終え、精一杯の競技・演技に打ち込みました。一日の活動を見渡すと、各場面に白幡中ならではの潔さ(いさぎよさ)が見られ、閉会式の講評でもそのことに触れ、白幡中の全生徒・全教職員による学校行事の楽しみ方のひとつの形を体現できたと実感しています。白中三祭は7月の文化祭、9月の体育祭、10月の合唱コンクールを言いますが、それぞれの行事にはクラス・学年・学校が一体感のある時間を共有します。おおよそひとつの目標や自分たちが望む姿を求め一人ひとりが努力を重ねることで、それぞれの中に【Grit やり抜く力】が育まれます。

20日(木)には生徒会本部役員立候補者の立会演説会及び投票が行われ、白幡中学校の次代の生徒会を担う顔ぶれが揃いました。今回の特徴は一年生の立候補者が多かったことですが、志をもって物事に打ち込めば必ずや人々の心を揺さぶり大きな賛同を得られることでしょう。立候補者たちは異口同音に「あいさつを交わそう」「もっといい白幡中を創ろう」と訴えていました。必ずや全力を挙げてバックアップし素敵な白幡中を創り続けようではありませんか。

慌ただしい日々の中、26日(水)の陸上競技から始まる新人体育大会。壮行会では各部の出場者がステージ上でたくましい抱負を述べ大会への意気込みを見せています。

残念なことに生徒の試合応援はできませんが、日程表をご覧ください保護者の皆様の応援をよろしく願います。